

**Dell Server Management Pack Suite Version 5.0.1 For
Microsoft System Center Operations Manager And
System Center Essentials**

インストールガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2012 Dell Inc.

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、Virtual SMP®、vMotion®、vCenter® および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

2012 - 08

Rev. A00

目次

メモ、注意、警告.....	2
章 1: 概要.....	5
Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能.....	5
対応 Dell デバイス.....	6
対応ファームウェアバージョン.....	7
管理サーバー (MS) の要件.....	7
サーバー帯域内監視の要件.....	7
サーバー帯域外監視要件.....	9
シャーシ監視要件.....	10
DRAC 監視要件.....	10
シャーシブレード関連監視要件.....	11
管理下システム要件.....	11
対応オペレーティングシステム.....	11
サーバー帯域内監視要件.....	11
サーバー帯域内機能を使用した DRAC の監視要件.....	12
章 2: Dell Server Management Pack Suite のインストール、アンインストール、 およびアップグレード.....	13
Dell Server Management Pack Suite のインストール.....	13
Dell Server Management Pack Suite を OpsMgr 2012 にインストールする前に.....	13
インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール.....	13
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート.....	15
Dell Feature Management Dashboard を使用して、監視機能をアップグレードする.....	20
機能のアップグレードマトリックス.....	21
以前の管理パックからのアップグレード.....	21
Dell Server Management Pack Version 5.0 からのアップグレード.....	21
Dell Feature Management Dashboard を使用した Dell Server Management Pack Suite Version 4.1 からのアップグレード.....	21
Dell Server Management Pack Suite Version 4.0 からのアップグレード.....	22
Dell Server Management Pack Suite Version 3.x からのアップグレード.....	22
OpsMgr 2012 へのアップグレード.....	23
The Dell Server Management Pack Suite のインストールまたはアップグレード後のタスク.....	23
OpsMgr 2012 を設定して、監視、トラップ、およびトラップベースのユニット監視を有効にする	23
Dell Connections License Manager URL の設定.....	25
Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	26
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除.....	26

Dell Server Management Pack Suite のアンインストール.....	26
アクセス権限.....	27
Dell Device Helper の再起動.....	27
章 3: トラブルシューティング.....	29
Dell Feature Monitoring Management Pack のインポート.....	29
タスクのパラメータのオーバーライド.....	29
機能管理アラート.....	29
機能管理ホストサーバーのヘルスサービスがダウンする.....	31
Connections License Manager ドメイングループの作成.....	31
Feature Management Dashboard にデータが読み込まれない.....	31
Feature Management Dashboard へのデータ投入に時間がかかる.....	31
OpsMgr 2012 へのアップグレード後、シャーシと DRAC の上書きが転送されない.....	32
章 4: デルへのお問い合わせ.....	33

概要

本ガイドは、Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 のソフトウェアを Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2、System Center 2012 Operations Manager、および System Center Essentials 2010 で使用するための前提条件と、インストールとアンインストールの要件の情報を提供します。

System Center Operations Manager 2007 R2、System Center 2012 Operations Manager、または System Center Essentials 2010 環境との Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 の統合により、お使いのデルデバイスの管理、監視、および可用性の確保が実現します。

 **注意:** データの破壊および/または損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows** オペレーティングシステムと **Systems Center Operations Manager 2007 SP1/R2**、**System Center 2012 Operations Manager**、および **System Center Essentials 2010** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

 **メモ:** 本マニュアル内の OpsMgr に関する言及は、特に指定のない限り、System Center Operations Manager 2007 R2、System Center 2012 Operations Manager、および System Center Essentials 2010 に適用されます。

 **メモ:** 本マニュアルでは、Dell Remote Access Controller (DRAC) デバイスという用語は、特に指定のない限り、DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7 を参照するために使用されます。

 **メモ:** 本マニュアルでは、シャーシデバイスという用語は、特に指定のない限り、DRAC/MC および CMC の両方を参照するために使用されます。

Management Pack Suite Installer、インストールガイド、および Readme の各ファイルは、自己解凍式実行ファイル **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v5.0.1_A00.exe** に収録されています。実行ファイルは、support.dell.com からダウンロードできます。

Management Pack の readme ファイルをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバー要件に関する最新情報が掲載されています。readme ファイルは、support.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルのページにも掲載されています。

Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能

次の表に、本バージョンの Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能を示します。

表 1. Dell Server Management Pack Suite でサポートされている機能

機能	説明	必要な管理パック
機能監視	サーバー、DRAC、およびシャーシ監視機能のインポート、アップグレード、および削除。	<ul style="list-style-type: none"> Dell Base Hardware Library Dell Feature Monitoring
サーバー帯域内監視	帯域内監視および Dell PowerEdge と PowerVault システムのインベントリ。	<ul style="list-style-type: none"> Dell Base Hardware Library Dell Server Model Dell Server Operations Library Dell Server View Dell Windows Server (拡張可能エディション)

機能	説明	必要な管理パック
サーバー帯域外監視	PowerEdge サーバーの帯域外監視およびインベントリ。	<ul style="list-style-type: none"> • Dell Windows Server (詳細エディション) • Dell Windows Server Overrides (情報アラートオン) • Dell Base Hardware Library • Dell Server Model • Dell Server Operations Library • Dell Server View • Dell Common Operations Library • Dell Server (帯域外) • Dell Server (帯域外) Detailed Monitoring On - Overrides
DRAC 監視	お使いの DRAC デバイスの監視およびインベントリ。	<ul style="list-style-type: none"> • Dell Base Hardware Library • Dell Common Operations Library • Dell DRAC Model • Dell DRAC View • Dell DRAC Operations Library • Dell DRAC (SCOM 2007/SCE 2010) • Dell DRAC (SC2012 OM 2010)
シャーシ監視	お使いの Dell CMC デバイスの監視およびインベントリ。	<ul style="list-style-type: none"> • Dell Base Hardware Library • Dell Common Operations Library • Dell CMC Model • Dell CMC View • Dell CMC Operations Library • Dell CMC (SCOM 2007/SCE 2010) • Dell CMC (SC2012 OM 2010)
シャーシブレード関連	シャーシ内のブレードサーバーの監視およびインベントリ。	<ul style="list-style-type: none"> • Dell Chassis Blade Correlation • Dell CMC (SCOM 2007/SCE 2010) • Dell CMC (SC2012 OM 2010) • Dell Server Model • Dell Windows Server (拡張可能エディション)

対応 Dell デバイス

次の表に、Dell Server Management Pack Suite でサポートされるデルのデバイスをリストします。

表 2. 対応 Dell デバイス

デバイス	世代	機能
Dell PowerEdge	9G、10G、11G	<ul style="list-style-type: none"> サーバー帯域内監視 シャーシブレード関連
	12 G	<ul style="list-style-type: none"> サーバー帯域内監視 サーバー帯域外監視 シャーシブレード関連
Dell PowerVault	9G、10G、11G	<ul style="list-style-type: none"> サーバー帯域内監視 シャーシブレード関連
Dell Remote Access Controller	DRAC 5、iDRAC 6、iDRAC 7	DRAC 監視
Dell Chassis Management Controller	CMC、DRAC/MC	<ul style="list-style-type: none"> シャーシ監視 シャーシブレード関連

対応ファームウェアバージョン

次の表に、DRAC、iDRAC、および CMC デバイス向けの対応ファームウェアバージョンを示します。

表 3. DRAC および CMC デバイスの対応ファームウェアバージョン

DRAC	CMC および DRAC/MC
iDRAC 7 モジュールおよびモノリシック : バージョン 1.0	CMC: バージョン 3.1~4.0
iDRAC 6 モジュラー : バージョン 1.5、1.6、3.2、および 3.3	DRAC/MC: バージョン 1.5 以降
iDRAC 6 モノリシック : バージョン 1.7 および 1.8	
DRAC 5 : バージョン 1.5 および 1.6	

管理サーバー (MS) の要件

サーバー帯域内監視の要件

対応オペレーティングシステム

OpsMgr 2007 用の管理サーバーでサポートされているオペレーティングシステムに関しては、[technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428(en-us).aspx) を、OpsMgr 2012 に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx を参照してください。

ソフトウェア要件

次の表に、本スイートの機能を使用するための管理サーバーのソフトウェアの要件を示します。

表 4. ソフトウェアの必須条件

ソフトウェア	目的
DRAC ツール または OpenManage Server Administrator (Server Administrator)	CMC および DRAC/MC シャーシのシャーシスロット サマリとサーバーモジュールを検出します。
Dell OpenManage Power Center	管理サーバーに Dell OpenManage Power Center をインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals の『 <i>Dell OpenManage Power Center Installation Guide</i> 』（Dell OpenManage Power Center インストールガイド）を参照してください。
BMC Management Utility	Dell の管理下システムにおいて、リモート電源制御タスク、または LED 識別制御タスクを実行します。
Dell License Manager	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals にある『 <i>Dell License Manager User's Guide</i> 』（Dell License Manager ユーザーズガイド）を参照してください。

 **メモ:** 『*Dell Systems Management Tools and Documentation*』（Dell システム管理ツールとマニュアル）メディアから BMC Management Utility、OpenManage Server Administrator (Server Administrator) および DRAC ツールにアクセスするか、support.dell.com/manuals からダウンロードしてください。

 **メモ:** IPv6 属性を持つ管理下システムを検出するには、管理サーバーで IPv6 を有効化および設定してください。

管理サーバーアクションアカウント

次の表に、本スイートの機能を使用するための管理サーバーのソフトウェアの要件を示します。

管理サーバーアクションアカウントでは、次の機能のため、Dell システムにおける次の追加権限が必要です。

表 5. 管理サーバーアクションアカウントの権限

機能	ユーザー権限
Dell サーバー帯域内 DRAC 検出および DRAC コンソールの起動	管理者またはパワーユーザー
ESM ログのクリア	管理者またはパワーユーザー あるいは、管理サーバーアクションアカウントに標準のユーザー権限が付与されている場合、ユーザーは 事前定義された RunAs アカウントの使用 を選択する代わりに、パワーユーザー以上の権限のあるタスク資格証明を入力して、 ESM ログのクリア タスクを実行できます。

サーバー帯域外監視要件

表 6. ソフトウェアの必須条件

ソフトウェア	目的
System Center 2012 Operations Manager (必須)	サーバー帯域外監視機能は、System Center 2012 Operations Manager を実行している管理サーバーでのみ使用可能です。OpsMgr 2012 のダウンロードおよびインストールの詳細に関しては、 technet.microsoft.com を参照して下さい。
マイクロソフトの帯域外 SMASH ライブラリ MPB (必須)	マイクロソフトの帯域外 SMASH ライブラリ MPB ファイルを管理サーバーにインストールして、お使いのシステムの帯域外検出を実行します。詳細に関しては、「 帯域外監視テンプレートのインストール 」を参照して下さい。
Dell Connections License Manager (必須)	ライセンスサーバーをインストールし、設定します。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals で『 <i>Dell Connections License Manager Installation Guide</i> 』（Dell Connections License Manager インストールガイド）を参照して下さい。
Dell License Manager Console の起動	iDRAC 7 ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals にある『 <i>Dell License Manager User's Guide</i> 』（Dell License Manager ユーザーズガイド）を参照してください。
Dell OpenManage Power Center	Power Center コンソールを起動するには、Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals にある『 <i>Dell OpenManage Power Center Installation Guide</i> 』（Dell OpenManage Power Center インストールガイド）を参照してください。
保証情報	管理システムには、管理対象システムの保証情報を表示するためのインターネット接続が必要です。

帯域外監視テンプレートのインストール

1. go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=244308 から、SMASH ライブラリ MPB ファイルを一時的な場所にダウンロードします。
2. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
3. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
4. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
5. **追加** → **ディスクから追加** をクリックします。
6. マイクロソフトの帯域外 SMASH ライブラリ MPB ファイルをダウンロードした場所の詳細を入力するか、その場所に移動します。
7. MPB ファイルを選択して **開く** をクリックします。

管理パックのインポート画面が表示され、リストのインポートにテンプレートが表示されます。

8. インストールをクリックします。

シャーシ監視要件

- スロット検出と相関を機能させるためには、CMC デバイスで RACADM を有効にします。詳細については、support.dell.com/manuals で利用できる『*RACADM Command Line Reference Guide for iDRAC7 and CMC*』（iDRAC7 および CMC 向け RACADM コマンドラインリファレンスガイド）を参照してください。
- CMC および DRAC/MC のシャーシスロットサマリを検出するには、**Run As アカウント**を設定して、これを **Dell CMC ログインアカウント**または **DRAC/MC ログインアカウント**の Run As プロファイルに関連付けます。また、オペレーションコンソールから CMC および DRAC/MC のスロット検出を有効にします。詳細に関しては、[シャーシスロットサマリを使用した関連サーバーモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定](#)を参照してください。

シャーシスロットサマリを使用した関連サーバーモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定

Run As アカウントを作成し、Run As プロファイルに関連付けて、シャーシスロットサマリにデータを投入します。

1. CMC または DRAC/MC、もしくはこれら両方への接続権限を持つ簡易認証タイプの **Run As アカウント**を作成します。また、ユーザー資格情報の設定には **ベーシック**または **ダイジェスト**タイプの Run As アカウントを使用します。**Run As アカウント**の設定で **高セキュリティ**オプションを選択し、設定を特定の管理サーバーに選択的に配布できるようにします。

 **メモ:** サーバー管理アクションアカウントを OpsMgr 管理者グループに追加します。

2. 作成した Run As アカウントを **Dell CMC ログインアカウント** および/または **Dell DRAC/MC ログインアカウント**と関連付け、プロファイルを設定できる適切なクラス、グループ、またはオブジェクトを選択します。
3. CMC のスロットサマリ検出を有効にするには、**Dell CMC スロット検出**で有効化プロパティを **True** に上書きします。これは、デフォルトで無効になっています。
4. DRAC/MC のスロットサマリ検出を有効にするには、**Dell DRAC/MC スロット検出**で有効化プロパティを **True** に上書きします。

 **メモ:** スロット検出後、**RunAs アカウント**と **RunAs プロファイル**間のリンクを削除、またはスロット検出ワークフローを無効化すると、検出されたスロットには古いデータが残ります。

DRAC 監視要件

表 7. ソフトウェア要件

ソフトウェア	目的
Dell License Manager (iDRAC 7 システムのみ)	ライセンスを展開して、管理サーバーからレポートを収集します。 Dell License Manager コンソールを起動するには、管理サーバーに Dell License Manager をインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals にある『 <i>Dell License Manager User's Guide</i> 』（Dell License Manager ユーザーズガイド）を参照してください。
Dell OpenManage Power Center	Power Center コンソールを起動するには、 Dell OpenManage Power Center を管理サーバーにインストールします。詳細に関しては、 support.dell.com/

ソフトウェア	目的
	manuals にある『 <i>Dell OpenManage Power Center Installation Guide</i> 』（Dell OpenManage Power Center インストールガイド）を参照してください。

シャーシブレード関連監視要件

分散 OpsMgr 2007 R2 環境で、CMC および / または DRAC/MC シャーシの検出および監視を行う管理サーバーのサーバープロキシを有効にします。詳細に関しては、「[分散 OpsMgr 環境におけるシャーシブレード関連](#)」を参照してください。

分散型 OpsMgr 環境におけるシャーシブレード関連

 **メモ:** 関連機能を動作させるには、CMC スロット検出 および DRAC/MC スロット検出 を有効にします。プロキシエージェントを有効化するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**管理** → **デバイス管理** → **管理サーバー** と展開します。
3. シャーシデバイスを検出した管理サーバーを選択します。
4. 右クリックして、**プロパティ** を選択します。
5. **管理サーバープロパティ** ダイアログボックスで、**セキュリティ** タブをクリックします。
6. このサーバーをプロキシとして動作させ、他のコンピューター上の管理下オブジェクトの検出を許可するオプションを選択します。
7. **OK** をクリックします。

管理下システム要件

対応オペレーティングシステム

OpsMgr 2007 用の管理サーバーでサポートされているオペレーティングシステムに関しては、[technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428(en-us).aspx) を、OpsMgr 2012 に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx を参照してください。

サーバー帯域内監視要件

サーバー（帯域内）監視を有効にするには、Server Administrator バージョン 6.2～7.0（Server Administrator Storage Management Service を含む）をインストールしてください。

次の表に、管理下システム上の Server Administrator のバージョンおよび、それぞれの機能を示します。

表 8. サーバー帯域内監視要件

機能	バージョン 6.2	バージョン 6.2.0.1	バージョン 6.3	バージョン 6.4	バージョン 6.5	バージョン 7.0
Windows オペレーティングシステムを実行している Dell サーバーの検出、イン						

機能	バージョン 6.2	バージョン 6.2.0.1	バージョン 6.3	バージョン 6.4	バージョン 6.5	バージョン 7.0
ベントリ、および監視						
ベーシックネットワークインタフェース属性	✓	✓	✓	✓	✓	✓
エンリッチネットワークインタフェース属性	✗	✓	✓	✓	✓	✓
iDRAC の監視	✗	✗	✓	✓	✓	✓
エクスペレスサービスコードの表示	✗	✗	✗	✗	✓	✓

 **メモ:** システムに サーバー Administrator バージョン 6.2 より以前のバージョンがインストールされている場合、システムは **管理対象外グループ**に分類され、監視は無効になります。

 **メモ:** 管理下システム上の **Server Administrator** をアップグレードまたはアンインストールする場合は、管理下システムの **アラートビュー** にスクリプトまたは実行可能ファイルの実行に失敗しました というエラーが表示されます。管理下システムが管理サーバーではない場合は、アップグレードまたはアンインストールが完了するまで、システムをメンテナンスモードに切り替えてください。管理下システムが **管理サーバー** である場合は、アップグレードまたはアンインストールが完了した後に、手動でアラートを閉じることができます。

サーバー帯域内機能を使用した DRAC の監視要件

iDRAC 7 の監視要件は、次のとおりです。

- **Server Administrator** (**Server Administrator Storage Management Service** を含む) をインストールして帯域内トラブルシューティングタスクを有効にします。**Server Administrator** を起動して **iDRAC 7** を搭載したシステムで **Remote Desktop** 機能を有効にするには、次を確認してください。
 - **Server Administrator** が **iDRAC 7** ホストシステムにインストールされている
 - 管理システムから、**iDRAC 7** ホストのホスト名を解決する
 - **Server Administrator** ポートを、デフォルトポートの **1311** に設定する
 - **iDRAC 7** ホストシステムで **Remote Desktop** を有効にする

Dell Server Management Pack Suite のインストール、アンインストール、およびアップグレード

Dell Server Management Pack Suite のインストール

Dell Server Management Pack Suite によってサポートされる各種監視機能をインストールして有効にするには、次の手順を実行します。

1. Dell Server Management Pack Suite インストーラを実行して、管理パックを解凍します。
詳細に関しては、「[インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール](#)」を参照してください。
2. Feature Monitoring Dashboard を使用して、サポートされている監視機能を有効にします。
詳細に関しては、「[Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の有効化](#)」を参照してください。

Dell Server Management Pack Suite を OpsMgr 2012 にインストールする前に

OpsMgr 2012 を実行しているシステムでは、**SNMP 監視アカウント**のプロファイルに、デフォルトのコミュニティの Run As アカウントを持つ**すべてのターゲット対象オブジェクト**への関連付けがあることを確認します。詳細に関しては、「[トラップの監視とトラップベースのユニット監視を有効化するための OpsMgr 2012 の設定](#)」を参照してください。

インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール

 **メモ:** 分散型セットアップは、Dell Server Management Pack Suite をすべての管理サーバーにインストールします。

 **メモ:** Windows PowerShell 2.0 をすべての管理サーバーにインストールします。

1. support.dell.com → ドライバとダウンロードと移動します。
2. **Dell_Server_Management_Pack_Suite_v5.0.1_Axx.exe** (xxはDell Server Management Packのリリース番号です) をダウンロードします。
3. **.exe** ファイルを実行し、自己解凍式の zip ファイルの内容を解凍するパスを指定します。
4. 解凍した場所から **Dell_Management_Pack_Suite_x86_x64.exe** ファイルを起動します。

 **メモ:** インストーラが Dell Server Management Pack Suite version 5.0 から機能を検出した場合、その機能はバージョン 5.0.1 に自動的にアップグレードされます。

Dell Server Management Suite Pack のようこそ画面が表示されます。

5. **次へ**をクリックします。
ライセンス契約が表示されます。
6. インストールを続行するには、ライセンス条項を読んでから承諾して、**次へ**をクリックします。

7. 必要に応じて、デフォルトのインストールフォルダを変更するために **変更** をクリックし、**次へ** をクリックします。
ユーザーの資格情報 画面が表示されます。
8. 64 ビットオペレーティングシステムを実行しているシステムでは、Dell Device Helper COM+ アプリケーションの **Active Directory Domain Administrator** のユーザー名とパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
 **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能の動作を最適化するため、Active Directory Domain Administrator が正しく設定されていることを確認します。
9. プログラムインストールの準備完了 画面が表示されます。インストール をクリックします。
Dell Server Management Pack Suite をインストール中 という進捗状況画面が表示されます。
10. Install Shield ウィザードの完了 画面で **終了** をクリックします。
インストール中、インストーラによって Windows Server Active Directory 内に Dell Connections License Manager ドメイングループが作成されます。ドメイングループがインストール中に自動作成されない場合は、手動で作成してください。詳細に関しては、「[Connections License Manager ドメイングループの作成](#)」を参照してください。
管理パックは **Dell Server Management Pack Suite** がインストールされた場所に解凍されます。デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\5.0.1** です。管理パック（MP）をインポートして監視機能を有効にするには、「[Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の有効化](#)」を参照してください。
 **メモ:** インストールが正常に完了した場合、Dell Feature Monitoring MP が自動的にインポートされます。インストーラが Dell Feature Monitoring MP のインポートに失敗した場合は、手動でインポートしてください。詳細に関しては、「[Dell Feature Monitoring Management Pack のインポート](#)」を参照してください。
 **メモ:** インストーラが **DellDeviceHelper.dll** を管理サーバーに登録します。デフォルトの場所は **C:\Program Files\Dell Management Packs\Server Mgmt Suite\5.0.1\Library** です。分散型セットアップ内のすべての管理サーバーでインストーラを実行して、**DellDeviceHelper.dll** を登録してください。

インストーラの修復オプションの使用

この機能は、Dell Server Management Pack Suite のインストール中に発生したインストールエラーを修復します。

1. 解凍した場所から **Dell_Management_Pack_Suite_x86_x64.exe** ファイルを起動します。
Dell Server Management Suite Pack の、ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
メンテナンス 画面が表示されます。
3. **修正** を選択し、**次へ** をクリックします。
プログラム修正の準備完了 画面が表示されます。
4. **インストール** をクリックします。
インストールが正常に完了しました という画面が表示されます。
5. **終了** をクリックします。
6. 64 ビットオペレーティングシステムを実行しているシステムでは、インストーラの **変更** オプションを使用して、**Active Directory Domain Administrator** の資格情報を Dell Device Helper COM+ アプリケーションに再入力します。詳細に関しては、「[インストーラの変更オプションの使用](#)」を参照してください。

インストーラの変更オプションの使用

-  **メモ:** 32 ビットオペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**変更** オプションは使用できません。

1. 解凍した場所から **Dell_Management_Pack_Suite_x86_x64.exe** ファイルを起動します。
Dell Server Management Suite Pack のようこそ画面が表示されます。
2. **次へ**をクリックします。
メンテナンス 画面が表示されます。
3. **変更**を選択して **次へ**をクリックします。
ユーザーの資格情報 画面が表示されます。
4. Dell Device Helper COM+ アプリケーションの **Active Directory Domain Administrator** のユーザー名とパスワードを入力して、**次へ**をクリックします。
プログラム変更の準備完了 画面が表示されます。
5. **インストール**をクリックします。
インストールが正常に完了しました 画面が表示されます。
6. **終了**をクリックします。

インストーラで **変更** オプションを実行した後、Dell サーバー検出や正常性の監視に関連するアラートが表示された場合は、**Dell Device Helper** を再起動します。詳細に関しては、「[Dell Device Helper の再起動](#)」を参照してください。

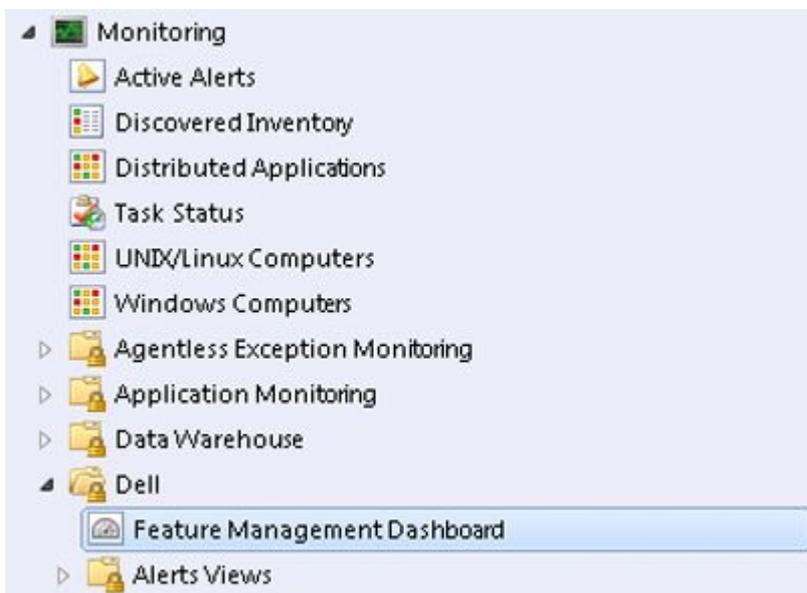
Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能のインポート

 **メモ:**分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Feature Monitoring Manement Pack は、検出、アラート、およびタスクなどの機能管理アクティビティのすべてをホストするための管理サーバーリストから1つのサーバーを特定します。

Dell Feature Management Dashboard は、使用可能な Dell Server Management Pack Suite の監視機能を検出し、それらを有効化して、特定の機能で必要とされる管理パックを自動的にインポート、アップグレード、および削除することを可能にします。

Feature Management Dashboard は、機能管理ホストサーバーを検出するために、分散型環境内の全管理サーバー上で実行されます。各サーバーでの検出のタイミングによっては、ダッシュボードへのデータ投入に数分から最大で1日かかる場合があります。40分以内でダッシュボードにデータを投入するには、検出要素 **Dell Feature Management Host** の検出の頻度を最低15分に短縮し、**Dell レジストリベースの Server Management Suite** の検出の頻度を最低10分に短縮します。Feature Management Dashboard にデータが投入された後は、検出で行った上書きを元に戻すことをお勧めします。監視機能をインポートするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視**をクリックします。
3. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。



Feature Management Dashboard ペインには、インストールされている機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、監視レベル、ライセンスの合計数、および使用中のライセンスのリストを表示できます。

Feature Management State (5)

Feature Name	Description	Monitoring Level	In Use Version	Available Version	Total Node Lic...	License In Use	Current License...
Chassis Modula...	Perform correlat...	Not Installed	Not Installed	5.0.1	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Chassis Monito...	Monitor Dell ch...	Not Installed	Not Installed	5.0.1	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
DRAC Monitoring	Monitor Dell re...	Not Installed	Not Installed	5.0.1	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Server (In-band)...	Monitor Dell Po...	Detailed Feature	5.0.1	5.0.1	Not Applicable	Not Applicable	Not Applicable
Server (Out-of-...	Monitor Dell Po...	Not Installed	Not Installed	5.0.1	Not Available	Not Available	Not Available

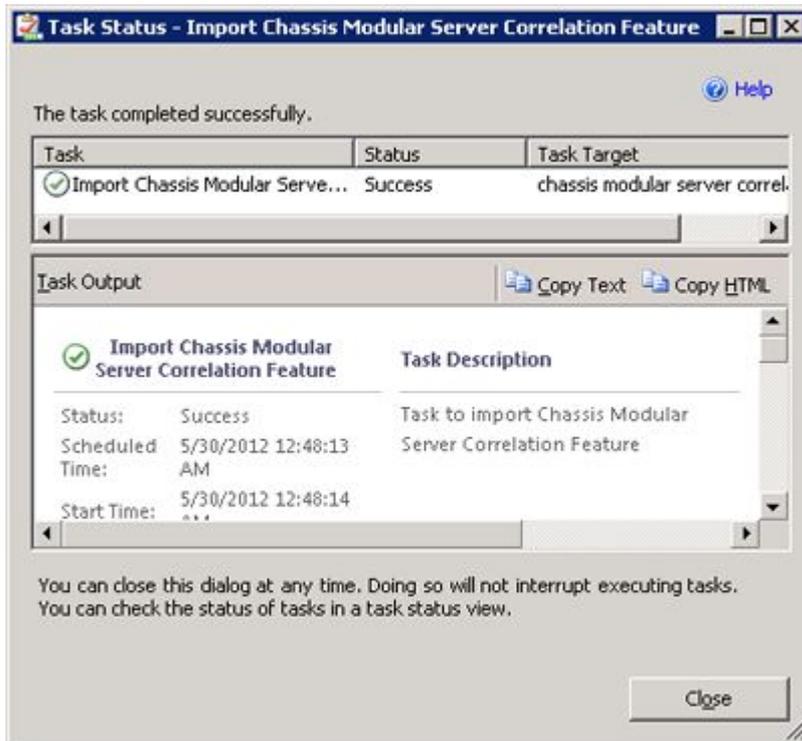
- インストールする監視機能を選択します。
詳細に関しては、「[Dell Server Management Pack Suite でサポートされている監視機能](#)」を参照してください。

- タスク ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。

メモ: System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスク ペインはアクションペインと呼ばれます。



- 機能をインポート/アップグレードするタスクをクリックします。
詳細に関しては、「[機能管理タスク](#)」を参照してください。
- タスクの実行画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションが選択されていることを確認します。
- 実行** をクリックします。
- タスクが正常に完了したら、**閉じる** をクリックします。



10. 有効にする各監視機能で、手順 4～9 を繰り返します。

- メモ: **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください。

機能管理タスク

以下の表は、**Feature Management Dashboard** で使用できるタスクをリストします。以下にリストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後のみ表示されます。

- メモ: OpsMgr イベントログでは、インポート中の管理パックが既にインポートされていて再インポートできないことを示すエラーログを無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に OpsMgr に既にインポートされていたすべての依存 MP を **Feature Management Dashboard** が再インポートすると発生します。
- メモ: **Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

表 9. 機能管理タスク

タスク	説明
サーバー（帯域外）監視	
メモ: OpsMgr 2012 を実行している 12 世代 PowerEdge サーバーでのみサポートされています。	
License Server の設定	Dell Connections License Manager を設定します。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。

- メモ: Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、サーバー（帯域外）監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。

Dell Connections License Manager の起動

Dell Connections License Manager コンソールを起動します。詳細に関しては、support.dell.com/manuals の『*Dell Connections License Manager User's Guide*』（Dell Connections License Manager ユーザーズガイド）を参照してください。

- メモ: Dell Connections License Manager の設定中、License Manager タスクは、LicenseWebUIURL の設定が完了した後にのみ有効になります。詳細に関しては、「[Dell Connections License Manager URL の設定](#)」を参照してください。

- メモ: License Server の設定 と Connections License Manager の起動 は、Feature Management Dashboard 上のすべての監視機能に共通のタスクです。

サーバー（帯域外）監視の優先監視メソッドとしての設定

セットアップ内の Dell サーバーが、サーバー（帯域内）監視機能とサーバー（帯域外）監視機能の両方で監視されている場合、このタスクは、サーバー（帯域外）監視機能をお使いの Dell サーバーの監視メソッドとして有効化します。

サーバー（帯域外）拡張可能機能のインポート

監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域外）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。

サーバー（帯域外）詳細機能のインポート

監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域外）監視機能の詳細エディションがインポートされます。

サーバー（帯域外）拡張可能機能への設定

システムでサーバー（帯域外）監視機能の詳細エディションが実行されている場合、Feature Management Dashboard がサーバー（帯域外）詳細機能からサーバー（帯域外）拡張可能機能に切り替わります。

サーバー（帯域外）詳細機能への設定

システムでサーバー（帯域外）監視機能の拡張可能エディションが実行されている場合、Feature Management Dashboard がサーバー（帯域外）拡張可能機能からサーバー（帯域外）詳細機能に切り替わります。

サーバー（帯域外）機能の削除

サーバー（帯域外）監視機能を削除します。

サーバー（帯域内）監視

サーバー（帯域内）詳細機能のインポート

監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションがインポートされます。

旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、サーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションがインポートされます。

タスク	説明
サーバー（帯域内）拡張可能機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。 旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションがインポートされます。
サーバー（帯域内）監視の優先監視メソッドとしての設定	セットアップ内の Dell サーバーが、サーバー（帯域内）監視機能とサーバー（帯域外）監視機能の両方で監視されている場合、このタスクは、サーバー（帯域内）監視機能をお使いの Dell サーバーの監視メソッドとして有効化します。
サーバー（帯域内）拡張可能機能への設定	システムでサーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションが実行されている場合、 Feature Management Dashboard がサーバー（帯域内）詳細機能からサーバー（帯域内）拡張可能機能に切り替わります。
サーバー（帯域内）詳細機能への設定	システムでサーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションが実行されている場合、 Feature Management Dashboard がサーバー（帯域内）拡張可能機能からサーバー（帯域内）詳細機能に切り替わります。
情報アラートをオンに設定（サーバー帯域内）	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用中、情報アラートがオンになります。
情報アラートをオフに設定（サーバー帯域内）	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用中、情報アラートがオフになります。
サーバー（帯域内）機能の削除	サーバー（帯域内）監視機能を削除します。
DRAC 監視	
DRAC 監視機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、DRAC 監視機能がインポートされます。
DRAC 監視機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、現在のバージョンの Dell Server Management Pack の DRAC 監視機能がインポートされます。
DRAC 監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
シャーシ監視	
シャーシ監視機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、シャーシ監視機能がインポートされます。
シャーシ監視機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、現在のバージョンの Dell Server Management Pack のシャーシ監視機能がインポートされます。
シャーシ監視機能の削除	DRAC 監視機能を削除します。
シャーシモジュラーサーバー関連	

タスク	説明
シャーマシモジュラーサーバー関連機能のインポート	監視機能がインストールされていない場合、シャーマシモジュラーサーバー関連機能がインポートされます。
シャーマシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード	旧バージョンの Dell Server Management Pack Suite をアップグレードしている場合、Dell Server Management Pack のシャーマシモジュラーサーバー関連機能がインポートされます。
シャーマシモジュラーサーバー関連機能の削除	シャーマシブレード関連監視機能を削除します。

Dell Feature Management Dashboard を使用して、監視機能をアップグレードする

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
3. **Dell → Feature Management Dashboard** とクリックします。
Feature Management Dashboard ペインには、インストールされている機能、現在使用中のバージョン、アップグレード可能なバージョン、監視レベル、合計ライセンス数、および使用中のライセンスのリストを表示できます。
4. アップグレードする機能を選択します。各機能で使用可能なアップグレードオプションは、「[機能アップグレードマトリックス](#)」を参照してください。
5. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。
 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスク ペインはアクションペインと呼ばれます。
6. 実行するアップグレードタスクをクリックします。詳細に関しては、「[機能管理タスク](#)」を参照して下さい。
7. **タスクの実行** アップグレード画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションを選択します。
8. **Run (実行)** をクリックします。
 **注意:** データ喪失につながるオーバーライドの必要な依存または関連がある場合、該当するメッセージが表示されてタスクに失敗します。タスクを進めるには、オーバーライドをクリックして警告/エラーの自動解決のオーバーライドを **True** に設定します。詳細に関しては、「[タスクのパラメータのオーバーライド](#)」を参照して下さい。
9. タスクを完了したら、**閉じる** をクリックします。

機能のアップグレードマトリックス

表 10. 機能のアップグレードマトリックス

機能	拡張性	詳細
サーバー（帯域内）監視	サーバーおよびコンポーネントグループレベルに限定された、インベントリおよび正常性の監視	個々のコンポーネントのインベントリと正常性監視を行います。  メモ: 300 台未満のノードを管理する時には、この管理パックを使用します。
サーバー帯域外監視	サーバーおよびコンポーネントのグループレベルに限定された、インベントリから個々のコンポーネントの正常性の監視	個々のコンポーネントのインベントリと正常性監視を行います。 電源、温度、およびネットワークインタフェースカードのメトリックスを表示します。  メモ: 30 台未満のノードを管理する時には、この管理パックを使用します。
DRAC 監視	DRAC インベントリ DRAC 正常性監視	-
シャーシ監視	ブレードインベントリ シャーシスロットサマリ シャーシの正常性監視のみ	-
シャーシモジュラーサーバー相関	シャーシからブレード内の個々のコンポーネントまでのインベントリおよび正常性監視	-

以前の管理パックからのアップグレード

Dell Feature Management Dashboard を使用して、最新版の Dell Server Management Pack にアップグレードすることができます。Dell Server Management Pack をアップグレードする前に、すべてのシャーシ監視および DRAC 監視のアラートを閉じるか解決してください。

Dell Server Management Pack Version 5.0 からのアップグレード

インストーラを実行すると、Dell Server Management Pack Suite version 5.0 からのインストール済み機能が検出され、それらが自動的にバージョン 5.0.1 にアップグレードされます。

 **メモ:** アップグレードの完了後、インストーラが再起動が必要というメッセージを表示する場合がありますが、再起動は不要なため、このメッセージは無視してください。

Dell Feature Management Dashboard を使用した Dell Server Management Pack Suite Version 4.1 からのアップグレード

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 へのアップグレード中、上書き管理パックが継承されても、特定のオブジェクトをターゲットにした上書きは継承されません。

監視機能は Dell Feature Management Dashboard を使用してアップグレードすることをお勧めします。Dell Feature Management Dashboard を使用して監視機能をアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2. **監視** で、**Dell → Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内に存在する管理パック、およびアップグレード可能な管理パックバージョンがリストされます。
3. アップグレードする監視機能を選択します。
4. **タスク** で、**Dell 監視機能タスク** を展開します。
 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、**タスク** ペインは **アクション** ペインと呼ばれます。
5. 監視機能をアップグレードするためのタスクを選択します。
詳細に関しては、「[機能管理タスク](#)」を参照してください。
6. **タスクの実行** アップグレード画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションを選択します。
7. **実行** をクリックします。
 **注意:** データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けがある場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、上書きをクリックして警告/エラーの自動解決上書きを **True** に設定します。詳細に関しては、「[タスクパラメータの上書き](#)」を参照して下さい。
8. タスクを完了したら、**閉じる** をクリックします。
アップグレード中、以前のバージョンからの Dell Server Management Pack からの上書き（検出、監視、規則、へのカスタマイズ、等）は、すべて Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 に移行されます。

Dell Server Management Pack Suite Version 4.0 からのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite バージョン 4.0 を 5.0.1 にアップグレードするには、バージョン 4.1 にアップグレードした後で 5.0.1 にアップグレードされることをお勧めします。バージョン 4.1 へのアップグレードに関しては、support.dell.com/manuals にある *Microsoft System Center Operations Manager* および *System Center Essentials* 向け *Dell Server Management Pack Suite Version 4.1* ユーザーガイドを参照して下さい。

Dell Server Management Pack Suite Version 3.x からのアップグレード

Dell Server Management Pack Suite version 3.x から version 5.0.1 へのアップグレードを行うことはできません。該当する旧バージョンの Dell Server Management Pack を削除した後、Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 を System Center Operations Manager にインストールしてください。Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 のインストール手順についての情報は、「[インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール](#)」を参照してください。

 **注意:** **Dell Management Packs Version 3.x** を削除すると、これまでオペレーションズデータベースから収集してきた監視データのすべてを失う場合があります。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 の一部である管理パックをインポートする前に、Dell Server Management Pack Suite version 3.x (Dell.Connections.001.mp) を削除するようにしてください。

OpsMgr 2012 へのアップグレード

 **メモ:** OpsMgr 2012 にアップグレードする前に、すべてのシャーシアラートと DRAC のアラートを閉じるか、解決してください。上書きはアップグレード中に失われる可能性があることから、カスタムグループおよびインスタンスレベル上書きのために、シャーシ監視および DRAC 監視の上書き参照をバックアップすることをお勧めします。

お使いのシステムに Dell Server Management Pack Suite version 5.0.1 の管理パッケージをすでにインストール済みで、その後で OpsMgr 2012 にアップグレードする場合は、シャーシおよび DRAC 監視機能は、次の機能監視パック検出サイクルで自動的にアップグレードされます。このアップグレード中、OpsMgr 2007 特有のシャーシ監視および DRAC 監視管理パックは、インポートされた OpsMgr 2012 特有のシャーシ監視および DRAC 監視管理パックと共にシステムに残ります。

OpsMgr 2012 では、ネットワーク監視スタックはアップグレード済みです。OpsMgr 2012 の新しいネットワーク監視機能を使用するには、新しい OpsMgr 2012 ネットワークデバイス検出ウィザードを使用して Dell デバイスを再検出することをお勧めします。シャーシ監視および DRAC 監視機能が OpsMgr 2012 でアップグレードされた後は、次の操作を行うことをお勧めします。

- レガシーネットワークデバイス下のシャーシおよび DRAC デバイスを削除する。
- シャーシおよび DRAC デバイスをノードとして再検出する。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh278846.aspx を参照してください。
- Dell CMC (SCOM 2007/SCE 2010) 管理パックおよび Dell DRAC (SCOM 2007/SCE 2010) 管理パックのファイルは、それらの機能が OpsMgr 2012 の Dell CMC (SC2012 OM) 管理パックおよび Dell DRAC (SC2012 OM) 管理パックで実行されるため、OpsMgr 2012 から削除する。

OpsMgr 2007 から OpsMgr 2012 へのアップグレード方法の詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh476934.aspx を参照してください。

 **メモ:** 機能管理ワークフローが最適レベルで動作していることを確実にするため、OpsMgr 2012 へのアップグレード後はルート管理サーバーを再起動してください。

The Dell Server Management Pack Suite のインストールまたはアップグレード後のタスク

管理パックのインポート後、ポストインストールタスクを実行します。

1. シャーシスロットサマリおよびサーバーモジュール検出のために CMC 監視機能を設定します。詳細については、[シャーシスロットサマリを使用した関連サーバーモジュール用 Dell Chassis Management Controller 機能の設定](#) を参照してください。
2. Dell Server Management Pack Suite を Dell Connections License Manager からライセンスを取得するよう設定し、サーバー（帯域外）監視機能を有効にします。詳細に関しては、「[Dell Connections License Manager URL の設定](#)」を参照して下さい。

OpsMgr 2012 を設定して、監視、トラップ、およびトラップベースのユニット監視を有効にする

OpsMgr 2012 で監視、トラップ、およびトラップベースのユニット監視を有効にするには、

1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2. **管理** ペインで、**Run As 設定** → **プロファイル** と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP 監視アカウント** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに画面が表示されます。

4. 次へをクリックします。
一般プロパティ 画面が表示されます。
5. 次へをクリックします。
Run As アカウントの追加 画面が表示されます。
6. 追加 をクリックします。
Run As アカウントの追加 画面が表示されます。
7. Run As アカウント ドロップダウンリストからデバイスを検出するために使用する、コミュニティ文字列の Run As アカウントを選択します。
 -  **メモ:** コミュニティ文字列の Run As アカウントがない場合は作成してください。詳細に関しては、「[SNMP 監視のための Run As アカウントの作成](#)」を参照して下さい。
 -  **メモ:** デバイス検出用に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスを Run As アカウントと関連付けてください。詳細に関しては、「[複数の Run As アカウントの関連付け](#)」を参照して下さい。
8. OK をクリックします。
9. ウィザードを完了したら、閉じる をクリックします。

SNMP 監視のための Run As アカウントの作成

1. OpsMgr 2012 を起動して、管理 をクリックします。
2. 管理 ペインで、Run As 設定 → アカウント と移動します。
3. アカウント を右クリックして、Run As アカウントの作成 をクリックします。
 -  **メモ:** ネットワーク監視用の Run As アカウントの詳細については、マイクロソフト TechNet サイト (technet.microsoft.com/en-us/library/hh212920.aspx) を参照してください。
- はじめに画面が表示されます。
4. 次へをクリックします。
一般プロパティ 画面が表示されます。
5. Run As アカウントのタイプ: ドロップダウンリストから、コミュニティ文字列を選択します。
6. 表示名: テキストボックスに名前を入力して、次へ をクリックします。
7. コミュニティ文字列 テキストボックスに適切な文字列を入力して、次へ をクリックします。
配布セキュリティ 画面が表示されます。
8. 低セキュリティ - 管理下コンピューターのすべてに資格情報を自動配布する。 オプションを選択して、作成 をクリックします。
9. ウィザードが完了したら、閉じる をクリックします。

複数 Run As アカウントの関連付け

1. 「[トラップの監視とトラップベースのユニット監視を有効化するための OpsMgr 2012 の設定](#)」の手順 1~6 に従います。
2. Run As アカウントの追加 画面で、選択したクラス、グループ、またはオブジェクト オプションを選択します。
3. 選択 → クラス とクリックします。
クラス検索 画面が表示されます。
 -  **メモ:** コミュニティ文字列の Run As アカウントをオブジェクトおよびグループに関連付けることもできます。詳細に関しては、technet.microsoft.com で OpsMgr 2012 向けのマイクロソフトマニュアルを参照してください。
4. 次でフィルタ (オプション) テキストボックスで、オブジェクトのクラスを入力します。デバイスのタイプに応じて、Dell Server、Dell CMC、Dell DRAC/MC、または Dell RAC クラスのいずれかを入力します。

5. **検索** をクリックします。
6. **使用可能なアイテム** で、追加したいアイテムを選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Run As アカウントの追加** 画面で、**OK** をクリックします。
9. 管理したいクラスの各タイプに、手順 2~8 を繰り返します。
10. **保存** をクリックします。
11. ウィザードが完了したら、**閉じる** をクリックします。

Dell Connections License Manager URL の設定

Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後のみ検出されるため、サーバー（帯域外）監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。

 **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能がすでにインポートされている場合、Dell サーバーは次の検出サイクルでのみ検出され、Dell Connections License Manager URL の設定を促すアラートが機能管理ダッシュボード内に生成されます。詳細に関しては、「[機能管理アラート](#)」を参照してください。

 **メモ:** 管理サーバーが再起動された場合、検出された Dell サーバーは、次の検出サイクルの後のみ表示されます。

1. **Dell Connections License Manager** をインストールします。詳細に関しては、support.dell.com/manuals の『*Dell Connections License Manager Version 1.0 Installation Guide*』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 インストールガイド）を参照してください。
2. 監視機能のためのライセンスを入手します。詳細に関しては、support.dell.com/manuals にある『*Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide*』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）の「Connections License Manager の管理」の項を参照してください。
3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
4. ナビゲーションペインで、**監視** をクリックします。
5. **監視** → **Dell** → **Feature Management Dashboard** と展開します。
6. サーバー（帯域外）**監視** 機能を選択します。
7. **License Server の設定** タスクを実行します。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
8. **上書き** をクリックします。
上書きタスクのパラメータ画面が表示されます。
9. 新しい値列にある **LicenseWebServiceURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブサービス URL（ライセンスウェブサービス URL はデフォルトポートを 8543 として使用）を入力します。
例えば、http://10.56.123.255:8543/ となります。
10. 新しい値列にある **LicenseWebUIURL** パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブ UI URL（ライセンスウェブ UI URL はデフォルトポートを 8543 として使用）を入力します。
例えば、http://10.56.123.255:8544/ となります。
11. **上書き** をクリックします。
タスクの実行 - **License Server の設定** 画面が表示されます。
12. **実行** をクリックします。
タスク状態 - **License Server の設定** 画面が表示されます。**License Server の設定** タスクは完了までに数分かかります。

 **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。

Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Dell Feature Management Dashboard を使用した監視機能の削除

管理パックの削除には、Dell Feature Management Dashboard の使用を推奨します。監視機能を削除する前に、開いているすべてのアラートを閉じるか解決します。監視機能の削除中、Feature Management Dashboard は上書き参照のすべてをインストールフォルダのバックアップとしてエクスポートしますが、カスタムグループ情報および上書きインスタンスレベル情報は、今後再使用することはできません。Dell Feature Management Dashboard を使用してお使いの管理パックを削除するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr を立ち上げて、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** → **Feature Management Dashboard** に移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内にある Management Pack のリストが表示されます。
3. 削除する監視機能を選択します。
4. **タスク** ペインの下にある **Dell 監視機能タスク** を展開します。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 または System Center Essentials 2010 では、タスクペインはアクションペインと呼ばれます。

5. **機能の削除** をクリックします。
6. **タスクの実行 - 機能の削除** 画面で、**事前定義された RunAs アカウントの使用** オプションを選択します。
7. **実行** をクリックします。

 **注意:** データ喪失につながる上書きを行う必要がある依存性または関連付けがある場合、該当するメッセージと共にタスクが失敗します。タスクを続行するには、上書きをクリックして警告/エラーの自動解決上書きを True に設定します。詳細に関しては、「[タスクパラメータの上書き](#)」を参照して下さい。

8. タスクが終了したら、**閉じる** をクリックします。

 **メモ:** 機能を削除すると、一部のユーザー役割の範囲に影響する場合があります。

Dell Server Management Pack Suite のアンインストール

Dell Server Management Pack Suite をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラムのアンインストール** とクリックします。
2. **Dell Server Management Pack Suite** を右クリックし、**アンインストール** をクリックします。
3. 画面の指示に従って、アンインストールプロセスを完了します。

または、インストーラをダブルクリックして **削除** を選択し、画面の指示に従います。

 **メモ:** アンインストール中、COM Surrogate プロセスがバックグラウンドで **DellDeviceHelper.DLL** を実行されており、これを閉じる必要があることから、インストールを続行する前に次のアプリケーションを閉じてください：COM Surrogate いうメッセージが表示されます。**アプリケーションを自動的に閉じて、セットアップ完了後に再起動を試行する** オプションを選択してください。**OK** をクリックして、アンインストールを続行します。

アクセス権限

操作コンソールのアクセス権限は OpsMgr により内部で処理されます。権限を設定するには、OpsMgr コンソールの **管理** → **セキュリティ** 機能の下にある **ユーザーの役割** オプションを使用します。設定されたプロファイルが、実行可能な処置を決定します。セキュリティ関連の詳細に関しては、support.dell.com/manuals にある *Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2*、*Microsoft System Center 2012 Operation Manager*、または *Microsoft System Center Essentials 2010 Online Help* を参照して下さい。

Dell Device Helper の再起動

1. スタート → すべてのプログラム → 管理ツール → コンポーネントサービス とクリックします。
コンポーネントサービス 画面が表示されます。
 2. コンポーネントサービス → コンピューター → マイコンピューター → COM+ アプリケーション と展開します。
 3. **Dell Device Helper** を右クリックし、**シャットダウン** をクリックします。
 4. **Dell Device Helper** を右クリックし、**起動** をクリックします。
 5. コンポーネントサービス ウィンドウを閉じます。
-  **メモ:** Dell Device Helper の再起動後、検出された Dell サーバーは次の検出サイクルまで表示されません。

トラブルシューティング

本章では、インストール関連のエラーのトラブルシューティングについての情報を説明します。

Dell Feature Monitoring Management Pack のインポート

インストーラで Feature Monitoring Management Pack (MP) のインポートに失敗した場合、

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、**管理** をクリックします。
3. **管理** を展開し、**管理パック** を右クリックして、**管理パックのインポート** を選択します。
4. **管理パックの選択** 画面で、**追加 → ディスクから追加** とクリックします。
5. **Dell Server Management Pack Suite** をインストールした場所を詳細に入力するかその場所まで移動します。
デフォルトのディレクトリへのインストールを選択している場合、Dell Feature Monitoring Library MP は **C:\Program Files\Dell Management Packs\5.0.1** から利用できます。
6. **Dell.FeatureManagement.Pack.mp** および **Dell.Connections.HardwareLibrary.mp** を選択して、**開く** をクリックします。
管理パックのインポート 画面が表示され、インポートリストに選択した管理パックが表示されます。
7. **インストール** をクリックします。

タスクのパラメータのオーバーライド

 **注意:** タスクのパラメータをオーバーライドすると、管理パックまたは動作データが失われます。

1. OpsMgr コンソールを立ち上げて、**監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell → Feature Management Dashboard** と移動します。
Feature Management Dashboard ペインに、OpsMgr 内の管理パックとアップグレード可能な管理パックのバージョンのリストが表示されます。
3. 管理機能を選択して、オーバーライドするタスクをクリックします。
4. タスクの実行画面で、**オーバーライド** をクリックします。
タスクのパラメータのオーバーライド 画面が表示されます。
5. 新しい値のドロップダウンメニューで、**警告/エラーの自動解決** を **True** に変更します。
6. **オーバーライド** をクリックします。
7. **実行** をクリックしてタスクを実行します。

機能管理アラート

Dell Device Helper Utility または Dell Connections License Manager サーバーが正しくインストールされていない場合、またはライセンスサーバーが Dell サーバー（帯域外）監視機能を通して Dell サーバーを監視するために十分なライセンスを持っていない場合、ダッシュボードの機能管理アラートに以下のアラートが生成されます。

表 11. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状況	原因	解決法
Dell FMP : Dell Device Helper Utility が存在しないか、Dell Dell Server (out-of-band) Management Pack との互換性がありません	重要	Dell Device Helper Utility バージョン 5.0.1 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。 5.0.1 より新しいバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。 5.0.1 より古いバージョンの Dell Device Helper Utility が見つかりました。	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.0.1 インストーラーを実行してください。
Dell FMP : Dell License Server が適切に設定されていません	重要	Dell Connections License Server が設定されていません。	Dell Connections License Server をインストールして URL を設定してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。
Dell FMP : Dell License Server が到達不能です	重要	Dell Connections License Server に接続できません。	Dell Connections License Server URL が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。
Dell FMP : 機能に対する Dell ライセンスが十分でないか存在しません。	重要	Dell Connections License Server 上にライセンスがありません。 監視機能に対するライセンスの使用が監視制限を超えています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	警告	監視機能に対するライセンスの使用が、総監視能力の上限に近づいています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	重要	監視機能のためのライセンスを処理できません。	Dell Connections License Server が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、 support.dell.com/manualsis の『 <i>Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide</i> 』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能か

アラートテキスト	アラート状況	原因	解決法
			どうかを確認してください。 Dell Connections License Server からライセンスを取得するためのアクセス権限を確認してください。

機能管理ホストサーバーのヘルスサービスがダウンする

分散型セットアップ (OpsMgr 2012 内の分散型リソースプールを含む) では、Dell Feature Monitoring Management Pack は、検出、アラート、およびタスクなどの機能管理アクティビティのすべてをホストするための管理サーバーリストから 1 つのサーバーを特定します。選択された管理サーバーの機能が停止すると、実行した機能管理タスクは失敗します。そのような選択された管理サーバーが破損している、または正常性サービスを呼び出せない場合は、古いオブジェクトを削除するために、管理サーバーの使用停止を計画してください。詳細については、technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照して下さい。

Dell Feature Management Pack は新規の機能管理ホストサーバーに切り替え、以降の検出サイクルではそのサーバーで機能をホストします。

Connections License Manager ドメイングループの作成

Dell Server Management Pack Suite または Dell Connections License Manager のインストール中、Windows Server Active Directory 内に次のグループが作成されます。

- Dell Connections License 管理者
- Dell Connections License オペレータ
- Dell Connections License ユーザー

上記のドメイングループがインストール中に自動的に作成されない場合は、グループを手動で作成します。ドメインを作成してドメインにユーザーを追加するには、マイクロソフト (technet.microsoft.com) で Windows のマニュアルを参照してください。

 **メモ:** 必要なドメイングループを作成した後、管理サーバーマシンアカウントを **Dell Connections License ユーザー** グループの一部として追加し、現在のユーザーアカウントを **Dell Connections License 管理者** グループに追加してください。

Feature Management Dashboard にデータが読み込まれない

Feature Management Dashboard の使用は、Dell Server Management Pack Suite がすべての管理サーバーにインストールされていることが前提条件です。管理サーバーでインストーラを実行せずに手動で Feature Monitoring MP をインポートしている場合、Feature Management Dashboard にデータが読み込まれません。Feature Management Dashboard にデータを読み込むには、すべての管理サーバーでインストーラを実行してください。詳細に関しては、「[インストーラを使用した Dell Server Management Pack Suite のインストール](#)」を参照して下さい。

Feature Management Dashboard へのデータ投入に時間がかかる

Feature Management Dashboard は、機能管理ホストサーバーを検出するために、分散型環境内の全管理サーバー上で実行されます。各サーバーでの検出のタイミングによっては、ダッシュボードへのデータ投入に数分から最大で 1 日かかる場合があります。40 分以内でダッシュボードにデータを投入するには、検出要素 **Dell**

Feature Management Host の検出の頻度を最低 15 分に短縮し、**Dell** レジストリベースの **Server Management Suite** の検出の頻度を最低 10 分に短縮します。**Feature Management Dashboard** にデータが投入された後は、検出で行った上書きを元に戻すことをお勧めします。

OpsMgr 2012 へのアップグレード後、シャーシと DRAC の上書きが転送されない

OpsMgr 2012 から OpsMgr 2007 R2 へのアップグレード後にシャーシと DRAC の上書きが転送されない場合、まず、**Feature Management Dashboard** から、シャーシの上書きを転送するシャーシアップグレードタスクを実行し、その後 **Feature Management Dashboard** から、DRAC の上書きを転送する DRAC アップグレードタスクを実行します。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. 米国在住以外のお客様は、**support.dell.com** ページ下の国コードを選択してください。**All** を選択するとすべての選択肢が表示されます。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。